

ベランダの下から友達の声が聞こえたよ

「ベランダの下から友達の声が聞こえたみたいだね。」

「どっちがよい子？おひさまマークの子かな？お月さまマークの子かな？」

「おひさまマークの子と、お月さまマークの子、どこが違うかくらべてみよう。」

★違い

おひさまマーク⇨ベランダの手すりのすきまから友達に手を振っている

ベランダには足がかりになるような物が何も置いていない

お月さまマーク⇨植木鉢のふちに乗ってベランダの手すりから身を乗り出して友達に手を振っている

ベランダの手すりに近いところに足がかりになる植木鉢が置いてある

★事故予防のポイント

①子どもの頭は大きく重い

子どもはよく転びますね。それは頭が大きく重いので、重心が高くなるためです。ベランダの手すりや出窓から身を乗り出して頭から落ちたり、浴槽の中やトイレの便器の中をのぞきこんでやはり頭から落ちておぼれる、という事故も多く起きています。マンション等のベランダの手すりの高さは一・メートル以上と決められています。この絵のようにベランダに足がかりとなる物が置いてあり、子どもがその上に乗ると手すりの外側に頭や身体が出てしまい、そうなると頭が重いのであつという間に転落してしまいます。

②予防するために

・足がかりになるような物はすべて撤去してください。植木鉢だけでなく、ラティス（格子に足を乗せて登れます）、おもちゃ、自転車、ごみバケツ、エアコンの室外機、灯油を入れるポリタンク、アウトドア用品やクルマ用品を入れる収納ボックス、デッキチェアなど考えられるものすべてです。

・手すりが横格子になっていたり、装飾用の細工が付いていたりしませんか？それらも足がかりになりますので、そのような場合はビニールシートで手すりの内側全体を覆うなどの工夫をしてください。

・高層の建物に住んでいる子どもは高いところに慣れており、高い⇨危険という認識を持ちにくい場合があります。高いということはそれだけでさまざまな危険をはらんでいるということ。折に触れて教えてください。また子どもが高層マンション等のベランダの手すりのすき間から物を落として下にいる人に当たるというケースもあります。思わぬ事態になることもありますので、子どもがベランダに出るときはおもちゃなどを持っていないか、確認してください。